

3/19 環境審議会での委員意見と対応方針について

◆委員意見：第5次岐阜県環境基本計画（現行計画）の主な取組みと課題について

（敬称略・順不同）

番号	意見	委員名	対応方針
1	・現行計画の「環境マイスター制度」は次期計画でどう関わってくるのか。	清水	・次期計画では環境マイスター制度の考え方を踏襲しつつ、人づくりを含めた環境教育の制度全般について見直していく。
2	・小学5年生に環境教育副読本を配布しているが、使われているか検証はしたのか。	清水	・毎年、教育委員会を通じて活用状況については確認している。 ・副読本の策定の際に、教育委員会や教育現場の声を聴取する等、より活用されるよう精査していく。
	・環境教育副読本を活かしていくことを考えてもらいたい。	佐治木	
3	・20代の意識を高めるため、どのように意識啓発をしていくのか。	守富	・若い人に向けた普及啓発は、次期計画で重要な課題であると認識しており、情報入手の方法を調査しつつ、SNSでの発信やホームページの刷新など検討する。 ・若者の意識醸成や参加に向け、次期計画では大学と連携した環境教育などの取組みも必要だと考えている。
		佐治木	

3/19 環境審議会での委員意見と対応方針について

◆委員意見：第6次（次期）岐阜県環境基本計画の策定について

（敬称略・順不同）

番号	意見	委員名	対応方針
4	・次期計画ではSDGsの概念を前面に出してもいいのではないか。	大場	・次期計画ではSDGsの概念が基本理念に組み込まれている旨を明記するとともに、施策の柱ごとに関連するSDGsのアイコンを明示する。
5	・企業が取り組むSDGsの動きと県の動きがリンクしていることが、分かるよう工夫すべき。	大場	・「各主体による連携の促進」を重点分野に位置付け、企業のSDGsを活用した取組みを情報発信していく。 ・また、企業の取組みを環境基本計画の中にトピックとして盛り込むことを検討する。
6	・環境と防災を結び付けて考えることによって、気候変動に対する緩和策や適応策につながってくると思うので、新たな課題に「防災」を加えると県民の興味度合いが増すのでは。	須田	・「自然災害に強い県土の保全管理」を重点分野に位置付け、「生態系を活用した防災・減災」や「グリーンインフラ」の概念を盛り込むことを検討する。
	・国の第5次環境基本計画の中の「グリーンインフラ」についても、県の計画の中に入れてもらいたい。	板津	
7	・コロナウイルスや豚熱などは環境と関わる部分があるため、次期計画に示す必要があるのではないか。	箕浦	・コロナウイルスや豚熱など、近年の事案と環境との関わりについては計画の前段で取り上げ、環境への影響や対応について示していく。
8	・計画の実効性を高めるためには、ビジョンとロードマップを県民と共有することが大事。	秀田	・計画の策定後は、計画の進捗状況を積極的に情報発信していき、計画の実効性を高めていきたい。